

研究課題名：当院におけるテナパノル塩酸塩の使用経験

当院の研究責任者：泌尿器科 高橋誠

他の共同研究者：泌尿器科 提箸隆一郎、泌尿器科 佐々木禎

本研究の目的・概要： テナパノル塩酸塩の治療効果の検討

調査データ・該当期間：血液検査（血清リン濃度など）、テナパノル塩酸塩の投与量、使用薬剤、患者背景 など

調査期間：2024年4月～

研究の方法：2024年4月から11月までに当院でフォゼベル錠を開始した症例を対象とし、血清リン濃度や便の性状などの情報を収集・解析する。

資料/情報の他の研究機関への提供および提供方法

他の研究機関に本研究で得た情報を提供しない。

本研究が公表される場合も、研究対象個人を特定できる情報を含まないこととする。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しない。

個人情報の保護：今研究は、以下の法令・規範に従う。

- ・ 個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号、最終改正：平成15年7月16日法律第119号）
- ・ ヘルシンキ宣言（日本医師会訳）
- ・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

利益相反：本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。